

機関紙 たいとう に
皆様の記事をお寄せ下さい!

採用された方に
500円分クオカードを
プレゼントします。



東京土建一般労働組合

台東支部

〒110-0012 台東区竜泉1-15-2

Tel:03-3876-1966 Fax:03-3875-5965

Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp

HP:http://doken-taito.jp

編集 杉本 郁代

現場でのアスベスト 対策は必須です

特別教育の講習会を開催しました



熱心に講義を聞く受講者 (上)



特別教育のテキスト (右)

2020年7月に、労働安全衛生法に基づく石綿障害予防規則が改正されました。解体・改修工事開始前の調査、届出の拡大・新設、作業の記録等に関する変更です。具体的には以下のとおりです。

今年4月から①延床面積80㎡以上の建築物解体工事②請負金額百万円以上の建築物改修工事、については石綿含有物の事前調査・報告が義務化となりました。さらには、来年2023年10月から調査者の資格を取得した者による事前調査が義務付けられます。

石綿(アスベスト)は1970年から90年にかけて大量に輸入され、その多くが建材として様々な建物に使われてきた経緯があります。この時期に大量に建てられた建築物の老朽化による解体・改修工事が、2028年ごろにピークになることが見込まれています。これらことから実際に現場で働く組合員にとって、石綿に関する正確な知識や適切な作業方法を学ぶことは必須といえます。石綿(アスベスト)関連の資格には以下の3つがあります。①現場で事前調査・書類作成を

区へ要望書を提出しました

9月9日に台東区の来年度予算に対して要望書を提出した「共同する会」ですが10月以降順次、各課との懇談を進めて



産業振興課と懇談

産業振興課と懇談
産業振興課と懇談
産業振興課と懇談

イリスに関して産業振興課は直接関与はしませんが、小規模事業者に対しての問題を考えてもらいたかったのです。11月21日は土木課と都市計画課との懇談でした。都市計画課はリフォーム助成に関係する部署なので大いにアピールしてきました。アスベスト問題に対してももっと使いやすい助成金が必要ないことも話してきました。土木課には建設キャリアアップシステムに対する要望を伝え、実現を目指します。

東京の空、日本の空は私たちの空です

11月13日、福生にある多摩川中央公園で、「横田基地にオスプレイはいらない東京大集会」が開かれました。集会参加者の発言では、不具

危険すぎるオスプレイ

11月13日、福生にある多摩川中央公園で、「横田基地にオスプレイはいらない東京大集会」が開かれました。集会参加者の発言では、不具

ラジオで聞いた話だが、人は28年周期で成長するといふ。28歳までは未熟期というわけだ。それで納得がいった。29歳のころ、このまま独身で生きていくとしたら、家族に迷惑をかけぬよう自立しなければと思ったのだ。それまでの私は自己中心的で多くの人を傷つけてきた。注意されて初めて気づくという、まさに未熟な若者人生だったし、自分が良ければそれでよしと平然と思っていたものだ。30才前後に自分の今後を考えると、話をよく耳にするのも腑に落ちる。次が56才までの成熟期だが再就職し、家族ができ、退職、パート勤めと経験した。以前よりもまじめな大人になつてきたと感じつつも、たまに失敗もしてきた。完成期に入った56才のころに組合活動に足を踏み入れ今に至るが、完成された人間などないと思う。では84才以降を何期というのだろうか。今よりも達観した人間になれているのか。自分の変化を楽しみつつ長生きしたい。



木洩れ日



はとバスの前で記念撮影

11月11日、はとバスツアーを利用した「お江戸味わい道中」旅行を企画しました。参加者は9人、当日は秋晴れの暖かい朝で、丸の内南口のバス乗り場から出発、首都高に入り、

レインボーブリッジ、お台場、有明のオリピック競技会場や豊洲市場等、車窓から眺めつつ築地へ向かいました。早めの昼食でお寿司をいただき、場外市場へ散策に。平日とはいえ、多くの人で賑わっていました。市場の奥には360年ほどの歴史がある波除稲荷神社があり、境内には大きな雄獅子と雌獅子（お歯黒獅子）が安置されており、一見の価値があります。

次の目的地は東京スカイツリーです。地上350mの展望台から移動。今日の感想など

アトビバ！ 帰りの旅行

私の大切なもの ～分会リレートーク～

5回目となる今回は、松が谷分会の藤田秀夫さんに寄稿いただきました。

「ペットと縁」
仏教用語に縁という言葉があります。運命によって定められためぐり合わせというものです。17年前の春、犬大好き私ののもとに、友人宅で産まれたトイプードルの子犬がやってきました。犬は飼い主を選ぶことはできません。6匹の中から選んだのは妻ですが、ここで縁という力が働いたのでしよう。大切に育てな



藤田さん夫妻と可愛い犬たち

くってはと責任を感じつつ、我が家に馴染んでくれるだろうか心配したものです。アズキと名付けた子犬はふわふわの毛並み、乳臭い香り、柔らかな肉球、よちよち歩きその姿にいやされました。散歩の際に知り合った友人も多数で、犬と共に食事に行ったり仲良くさせてもらっています。これも縁の力だと思っています。

小型犬の寿命は14、5才と言われています。1年前、首のリンパ腺が腫れて

今年17才の誕生日の翌日に、妻の腕の中で静かに息を引き取りました。徐々に衰弱していく姿を見ていただけに、ほっとしたのが正直な気持ちでした。4歳の時に産んだ2匹の子どもたちを具合が悪い中でも気を配る優しい母親で、犬の母性愛の強さに感心したものです。犬は亡くなると天国の手前になると虹の橋のたもとで、空腹もなく苦しむもなく幸せに暮らしているそうです。今ごろ仲良くしていた3匹の先輩犬と楽しく過ごしていると思います。

藤田秀夫

「小中学校の給食費の完全無償化を」

署名にご協力ください

台東区内の全公立小中学校では学校給食が実施されていますが、月々4,600～5,900円と、安価とはいえません。物価の高騰や賃金が上がらない中で、大変厳しい負担となっています。

子育て世代を守り、子どもたちの健全な発育のために署名に取り組んでいます。

支部に署名用紙あります/ ホームページよりダウンロードもできます



アクセサリ作りを体験

木工教室の椅子キットは14組販売し、住まいの相談室の指導員と共に作成を楽しみました。

2020年はフェスタ（ミニ椅子キット）、ドングリ・松ぼっくりトイに加え、豊コースター、ペットボトルキャップアクセサリの製作を企画しました。また、ミニ椅子キットの材料手配を依頼している製材所より木っ端を分けしてもらい、子どもたちに自由工作をしてもらったこととしました。豊コースターの材料も端材、ペットボトルのキャップもいきました。

豊コースターは用意した100セットが2日目の午前中で終了、ペットボトルキャップアクセサリも100セット中80セットが無くなりました。



木っ端材で自由工作を楽しみます

11月5日土曜の初日は子供の来場が少なく、午前中は大人中心の集客になりました。午後からは子どもたちも増えて、豊コースター製作とペットボトルキャップアクセサリ作りは大盛況でした。2日目の日曜は朝から親子連れが多く、「昨日は時間がなくて見るだけだったから、今日は朝からきた」と声を弾ませる小学生もいました。

木工教室とアクセサリづくり体験 エコフェスタに参加しました

話をしながらビールで乾杯、おいしいという重に舌鼓をうち楽しい一日を締めくくりました。コロナ禍でなかなか活動が出来ていませんので、企画を立てます。

通信員 福田俊昭

台東支部では住まいの相談室が中心となり、台東区主催の『環境（エコ）フェスタ』に20年以上参加してきました。参加団体は多岐にわたり、企画内容も様々です。

とができました。支部では従来の木工教室（ミニ椅子キット）、ドングリ・松ぼっくりトイに加え、豊コースター、ペットボトルキャップアクセサリの製作を企画しました。また、ミニ椅子キットの材料手配を依頼している製材所より木っ端を分け